

事業所名 グループホーム東倉敷
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援
専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 高等学校非常勤講師
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

倉敷市の市街地に程近い田園地帯の中にあり、バス停やスーパーも近くにあり、生活しやすい環境である。

岡山市内の系列の病院や倉敷市内の病院とのしっかりとした医療提携があり、日常の健康維持はもとより、急変時には昼夜を問わず、速やかな医療対応が期待できる。同じ法人が経営するデイサービスが同じ建物の一階に設置されており、いざという時にはサポートも期待できる。歯科もすぐ側にある。

新入社員への初任者研修、全職員の継続研修、法人のマナー集で接遇の勉強をする等組織的に職員教育を行い、職員の介護資質向上に向けて常に励んでいる。

2階・3階に各ユニットがあり、常に相互に連絡を取り合い、連携を図っている。

2階の浴室にはリフトを設置しており、体調の変化があった時や高齢化が進みより重固化した場合にも対応できる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特段に改善点として指摘すべき箇所は見当たらない。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>入居者の要望・ニーズを把握し、日常活動が充実し、入居者が自信とプライドを持って生活できるよう支援している。</p> <p>系列のグループホームとの連携を図って協力体制を築き、接遇や認知症介護についても研修を重ね、よりレベルの高いケアサービスの提供を目指している。</p> <p>年1回、法人内で定めた自己評価を行い、業務等について振り返る機会を設けて職員のモチベーションを高め、日々のケアへ反映させるように取り組んでいる。</p> <p>入居者の自己決定を尊重し、入居者個々のペースを大切にしたい暮らしの実現を目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>「みんなの声ノート」を設け、入居者の要望・希望を把握している。また、「みんなの声」を日誌に記入して入居者の気持ちの理解に努め、個別ケアの充実に励んでいる。</p> <p>言葉では十分に意思表示が出来ない人には、身振り、姿勢、表情などの非言語のメッセージを見逃さないよう気を配り、意志の疎通を図っている。</p> <p>日常生活の中で自己決定できる場面作りを行い、入居者が充足感を味わい、自信とプライドを取り戻すように支援している。</p> <p>入居者の望む過ごし方や個々の生活リズムに配慮し、本人の希望に添った暮らしが出来るように取り組んでいる。</p> <p>入居者一人ひとりの生活歴や残存能力を生かした役割作りを行い、生きがいを感じてもらえるように取り組んでいる。</p> <p>ホームで犬を飼っており、犬の世話をしたり触れたりすることが入居者の癒しとなっている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者個々の経歴・残存能力を把握し、出来ることを積極的に支援して意欲的に活動してもらうように取り組んでいる。</p> <p>居室にはノックをして許可を得てから入り、個人のプライバシーに配慮した対応を心掛けている。</p> <p>入居者一人ひとりの人格を尊重し、個人個人合わせた言葉掛けや対応で、個人の尊厳を守るように努めている。</p> <p>個人記録は事務室で責任を持って管理している。面会簿は個人別に分け、個人情報漏れることが無いように徹底している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>職員は、常に入居者の所在や様子・状態に気を配り、持ち場を移動する時には職員同士が声をかけて連携を図り、チームケアで介護に取り組んでいる。</p> <p>個人ファイルは、事務所に責任を持って保管している。職員には守秘義務を徹底し、個人情報が外部に流出することを防止している。</p> <p>職員研修を積極的に進め、初任者研修・定時研修を行い、法人のマナー集で接遇の勉強をしている。外部研修の内容は、職員全員に伝達して共有し、介護サービス向上へと努めている。</p> <p>ヒヤリハットも事故として捉え、事故報告書に事故内容や緊急対応の詳細を記録し、それに基づいて改善計画書を作り、再発防止に努めている。</p>		